

急変する国際情勢と韓日関係の安定化

韓日関係の現在と未来への模索

韓日両国は12年ぶりにシャトル外交が開催されてから、様々なレベルで会話が行われ、両国の人的交流は年間1000万人を超えるほど両国関係は改善されている。また、来年には韓日国交正常化60周年という節目を迎える。本シンポジウムでは韓日両国の専門家を招き、韓日関係の現在を分析し、急変する国際情勢の中で安定かつ未来志向的な関係を築くための方策を探る。

プログラム

セッション1 国際情勢の変化と韓日関係

討 論

セッション2 韓日関係の安定化方案模索

討 論

登壇者

セッション1



LEE kitae

李 奇泰

統一研究院
国際戦略研究室長
(研究委員)

セッション2



MICHISHITA Narushige

道下 徳成

政策研究大学院大学
(GRIPS)
理事・副学長・教授

討論



CHANG Booseung

張 富丞

関西外国語大学
外国語学部 教授
国際関係学

討論



KIMURA Kan

木村 幹

神戸大学
大学院国際協力研究科
国際協力政策専攻 教授

司会



KIM Sungmin

金 成玟

北海道大学大学院
メディア・コミュニケーション
研究院教授

日時

2024.7.27 (土) 14:00~17:00

(予定)

場所

札幌グランドホテル 2階金枝
札幌市中央区北1条西4丁目

当日ご来場の方に
韓国の記念品(数量限定)
差し上げます。

主催：駐札幌大韓民国総領事館

急変する国際情勢と韓日関係の安定化

セッション1 国際情勢の変化と韓日関係



LEE Kitae
李 奇泰
統一研究院
国際戦略研究室長
(研究委員)

インドー太平洋時代と韓日協力

韓国は韓半島における懸案と韓半島をめぐる国際情勢との関連性を分析することで、韓半島の統一環境を調整するには日本の協力が欠かせない。2023年尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権の発足以来、韓日関係の改善並びに昨年8月キャンプデービッドでの韓米日首脳会談を通じた韓日及び韓米日安保協力の必要性が増した。インドー太平洋時代を迎えて韓日は両国関係のみならず、インドー太平洋地域に向けて「外への協力」を模索するための具体的な協力方策を探る必要がある。

討 論

セッション2 韓日関係の安定化方案模索



MICHISHITA Narushige
道下 徳成
政策研究大学院大学
(GRIPS)
理事・副学長・教授

日本が韓国の安全保障に不可欠な理由。韓国が日本の安全保障戦略にとって不可欠な理由。多くの日本人は自覚していないが、日本は韓国の安全保障において大切な役割を果たしており、その重要性も高まってきている。また、近年では韓国が日本の安全保障戦略において必要不可欠なパートナーになりつつある。日本が韓国に、そして韓国が日本に対して果たしている安全保障上の役割とは何か? 日韓の専門家が議論する。

討 論

討論参加者

司会



CHANG Booseung
張 富丞
関西外国語大学
外国語学部 教授
国際関係学



KIMURA Kan
木村 幹
神戸大学
大学院国際協力研究科
国際協力政策専攻 教授



KIM Sungmin
金 成玟
北海道大学大学院
メディア・
コミュニケーション
研究院教授

次第

開演 14:00 ~
(開場 / 13:30)

- 14:10 ~ 14:40 セッション1
- 14:40 ~ 15:10 討論・質疑応答
- 15:10 ~ 15:30 休憩
- 15:30 ~ 16:00 セッション2
- 16:00 ~ 16:30 討論・質疑応答